

第4回 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構分科会 議事要旨

1. 日時：平成28年7月20日（水） 13：30－17：00
2. 場所：内閣府宇宙開発戦略推進事務局大会議室
3. 出席者
 - (1) 委員
山川分科会長、田辺分科会長代理、青木委員、関委員、白坂委員
 - (2) 事務局（内閣府宇宙開発戦略推進事務局）
高田事務局長、佐伯審議官、高見参事官、行松参事官
 - (3) 説明者等（国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構）
川端理事、山浦理事、山本理事、浜崎理事、常田理事、今井理事、布野執行役、深井執行役
4. 議事要旨
 - (1) 平成27年度業務実績評価の進め方について
事務局から、資料1等に基づき、平成27年度業務実績評価の進め方について説明が行われた。
 - (2) 宇宙航空研究開発機構の平成27年度業務実績評価について
JAXAから、資料2に基づき、平成27年度業務実績評価の概要について説明が行われた。
 - (3) 宇宙航空研究開発機構からのヒアリング
資料2に基づき、評価項目ごとにJAXAからヒアリングを行った。当該説明を踏まえ、委員から以下のような意見等があった。
 - 宇宙輸送システムの評価について、全て成功させた上に受注を実現し、派生的に成果が得られたということまで含めると、AではなくてSが妥当ではないか。
 - 有人宇宙活動の評価について、内容自体は予定どおり打ち上げたものであり、また創薬ベンチャーとの有償利用契約を結んだことのみをもって、そこから何かが生まれるとは判断できない。SではなくAが妥当だと考える。
 - コストダウンの観点の研究開発に取り組むことにより、産業界全体にも貢献していくといった取り組みをより推進すべき。
 - オープンラボから成果が出てきているのは素晴らしいが、それをもっと大きく広げていくために中小企業、零細企業にも分かるような説明の仕方が非常に重要である。

○理解調査や認知度調査を、国内だけでなく海外に対しても調査し、それを評価軸に加える時期が来ているのではないか。

本日の説明を踏まえ、各委員は、JAXAの平成27年度業務実績評価に対する意見を提出し、次回の分科会において意見の取りまとめを行うこととなった。

以 上